

平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月31日

上場会社名 アサガミ株式会社
 コード番号 9311 URL <http://www.asagami.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村健一
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 北川敏行
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

上場取引所 東

TEL 03-4288-3000

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
21年3月期第1四半期	12,260	544	395	118
20年3月期第1四半期	10,088	780	639	311

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	8.37	—
20年3月期第1四半期	22.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年3月期第1四半期	62,063	10,441	16.7	732.33
20年3月期	62,069	10,368	16.6	727.20

(参考)自己資本 21年3月期第1四半期 10,371百万円 20年3月期 10,298百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
第2四半期連結累計期間	24,155	18.8	768	△48.7	459
通期	53,359	7.3	2,963	△18.2	2,343

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
 新規 一社(社名)) 除外 一社(社名))
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)
 ①会計基準等の改正に伴う変更 有
 ②①以外の変更 無
 (注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)
 ①期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 14,180,000株 20年3月期 14,180,000株
 ②期末自己株式数 21年3月期第1四半期 17,872株 20年3月期 17,872株
 ③期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 14,162,128株 20年3月期第1四半期 14,163,902株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.平成20年5月15日発表の連結業績予想を修正しておりません。上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、上記予想に関する事項は、2ページ【定性的情報・財務諸表等】3.連結業績予想に関する定性的情報をご覧下さい。

2.当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は米国金融のサブプライムローン問題発生の影響や株価の下落、不安定な為替動向、また長期化する原油価格の高騰により、経済環境の先行きについては、依然として不透明な状況となっております。

このような経済環境の中、当第1四半期の業績につきましては、物流事業の運輸部門で売上を伸ばし、印刷事業においては、昨年9月に株式会社マイプリントが連結子会社となったため前年同期を上回る結果となりました。

なお、株式会社マイプリントの婚礼・年賀印刷は、その事業の需要期の特性から上半期に比べ下半期の売上高の割合が著しく高くなる傾向となっております。

費用面においては、売上高に関わらず人件費等の一般管理費が毎月発生する費用であるため売上高に対する費用負担が大きくなりました。

この結果、第1四半期連結累計期間の売上高は12,260百万円（前年同期比21.5%増）、営業利益は544百万円（前年同期比30.2%減）、経常利益は395百万円（前年同期比38.1%減）、四半期純利益は118百万円（前年同期比62.0%減）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は前連結会計年度末に比べ6百万円減少し62,063百万円となりました。主な増減は、株価変動により投資有価証券が218百万円増加し、受取手形及び売掛金が381百万円、減価償却等により建物及び構築物が173百万円、のれんが143百万円減少しております。

負債合計は、会計基準の変更により当第1四半期より計上した流動・固定負債のその他にリース債務が275百万円、賞与引当金が327百万円増加し、未払法人税等が618百万円減少したことにより前連結会計年度末に比べ79百万円減少し、51,621百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金が減少したものの評価・換算差額等が123百万円増加し前連結会計年度末より73百万円増加し10,441百万円となり、自己資本比率は16.7%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末より69百万円増加し、3,219百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって得られた資金は、528百万円となりました。

この主な要因は、税金等調整前四半期純利益384百万円、減価償却費497百万円、のれん償却額143百万円や法人税等の支払1,068百万円などによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用された資金は、311百万円となりました。

この主な要因は、有形固定資産の取得および保証金の返還による支出などであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用された資金は、147百万円となりました。

この主な要因は、社債および借入金の返済による支出や配当金の支払などであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

第1四半期の業績は概ね予想通り推移しており、平成20年5月15日発表の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 棚卸資産の評価方法

当第1四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、一部の子会社を除き実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

また、棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成19年3月14日 企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

② 棚卸資産の評価基準及び評価方法

当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）が適用されたことに伴い、主として総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性低価に基づく簿価切り下げの方法）により算定しております。なお、この変更による売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

③ リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号）を当第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度開始前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、期首に前連結会計年度末における未経過リース料残高又は未経過リース料残高相当額を取得価額として取得したものとしてリース資産の計上する方法によっております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、リース資産が有形固定資産に256百万円、無形固定資産に17百万円計上され、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

5. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位 : 千円)

	当第1四半期 連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	3,220,765	3,151,718
受取手形及び売掛金	8,182,264	8,563,502
商品及び製品	206,827	224,783
仕掛品	152,900	77,555
原材料及び貯蔵品	626,168	584,185
繰延税金資産	525,934	338,191
その他	848,923	827,844
貸倒引当金	△43,807	△52,245
流动資産合計	13,719,977	13,715,534
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,872,161	16,045,423
機械装置及び運搬具	1,593,181	1,683,189
土地	20,683,418	20,683,418
その他	1,272,373	992,676
有形固定資産合計	39,421,135	39,404,708
無形固定資産		
のれん	1,580,261	1,723,628
借地権	1,133,814	1,147,903
その他	123,628	112,378
無形固定資産合計	2,837,704	2,983,910
投資その他の資産		
投資有価証券	3,099,675	2,881,044
長期貸付金	1,326,971	1,323,628
繰延税金資産	345,603	434,977
その他	1,477,956	1,459,446
貸倒引当金	△217,356	△192,637
投資その他の資産合計	6,032,850	5,906,460
固定資産合計	48,291,690	48,295,080
繰延資産		
開業費	51,407	58,750
繰延資産合計	51,407	58,750
資産合計	62,063,075	62,069,366

(単位：千円)

当第1四半期
連結会計期間末
(平成20年6月30日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,247,225	6,347,132
短期借入金	8,478,684	8,234,785
1年内償還予定の社債	844,800	844,800
未払法人税等	458,255	1,076,976
賞与引当金	798,140	470,825
訴訟損失引当金	66,803	59,095
その他	2,423,039	2,157,120
流動負債合計	19,316,948	19,190,735
固定負債		
社債	1,974,500	2,066,200
長期借入金	22,365,425	22,495,660
再評価に係る繰延税金負債	3,174,391	3,174,391
繰延税金負債	28,826	30,556
退職給付引当金	1,416,005	1,393,562
役員退職慰労引当金	814,717	806,233
長期預り金	2,107,143	2,178,845
その他	423,281	364,647
固定負債合計	32,304,291	32,510,097
負債合計	51,621,239	51,700,833
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,189,000	2,189,000
資本剰余金	32,991	32,991
利益剰余金	2,803,921	2,855,334
自己株式	△6,711	△6,711
株主資本合計	5,019,200	5,070,613
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	725,067	601,094
土地再評価差額金	4,627,013	4,627,013
評価・換算差額等合計	5,352,080	5,228,107
少数株主持分	70,553	69,811
純資産合計	10,441,835	10,368,532
負債純資産合計	62,063,075	62,069,366

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

売上高	12,260,636
売上原価	9,896,489
売上総利益	2,364,146
販売費及び一般管理費	
役員報酬	126,433
給料及び手当	567,676
賞与	88,886
退職給付費用	31,768
役員退職慰労引当金繰入額	16,652
その他	987,736
販売費及び一般管理費合計	1,819,153
営業利益	544,993
営業外収益	
受取利息	8,720
受取配当金	25,448
その他	27,298
営業外収益合計	61,467
営業外費用	
支払利息	175,657
社債利息	7,412
開業費償却	7,343
その他	20,379
営業外費用合計	210,793
経常利益	395,667
特別利益	
固定資産売却益	378
貸倒引当金戻入額	2,910
特別利益合計	3,288
特別損失	
役員退職慰労金	666
その他の投資評価損	180
減損損失	14,089
特別損失合計	14,935
税金等調整前四半期純利益	384,020
法人税、住民税及び事業税	449,831
法人税等調整額	△185,085
法人税等合計	264,745
少数株主利益	742
四半期純利益	118,532

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	384,020
減価償却費	497,381
繰延資産償却額	7,343
減損損失	14,089
のれん償却額	143,366
貸倒引当金の増減額（△は減少）	16,281
賞与引当金の増減額（△は減少）	327,314
偶発損失引当金の増減額（△は減少）	7,708
退職給付引当金の増減額（△は減少）	22,442
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	8,483
受取利息及び受取配当金	△34,169
支払利息	183,069
為替差損益（△は益）	136
固定資産売却損益（△は益）	△378
会員権評価損	180
売上債権の増減額（△は増加）	411,469
たな卸資産の増減額（△は増加）	△99,372
仕入債務の増減額（△は減少）	△138,468
未払消費税等の増減額（△は減少）	2,462
その他	△15,762
小計	1,737,599
利息及び配当金の受取額	34,340
利息の支払額	△174,785
法人税等の支払額	△1,068,552
営業活動によるキャッシュ・フロー	528,601
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△217,140
有形固定資産の売却による収入	1,935
無形固定資産の取得による支出	△7,499
投資有価証券の取得による支出	△9,671
敷金及び保証金の差入による支出	△15,946
敷金及び保証金の回収による収入	839
貸付けによる支出	△20,200
貸付金の回収による収入	26,167
長期預り金の返還による支出	△72,752
長期預り金の受入による収入	1,050
その他	1,782
投資活動によるキャッシュ・フロー	△311,435

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	350,000
長期借入れによる収入	1,850,000
長期借入金の返済による支出	△2,086,336
社債の償還による支出	△91,700
配当金の支払額	△169,945
財務活動によるキャッシュ・フロー	△147,981
現金及び現金同等物に係る換算差額	△136
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	69,047
現金及び現金同等物の期首残高	3,150,249
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,219,296

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 繼続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

	物流事業 (千円)	不動産事業 (千円)	印刷事業 (千円)	販売事業 (千円)	その他事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1)外部顧客に対する売上高	6,428,945	833,359	4,008,014	912,267	78,048	12,260,636	—	12,260,636
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	3,187	367,925	324	—	—	371,437	(371,437)	—
計	6,432,132	1,201,285	4,008,339	912,267	78,048	12,632,074	(371,437)	12,260,636
営業利益	618,093	519,251	△57,996	15,788	1,401	1,096,538	(551,545)	544,993

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な内容は次のとおりであります。

- (1) 物流事業 港湾運送、海上運送、通関、倉庫、陸上運送、荷役
- (2) 不動産事業 土地建物
- (3) 印刷事業 印刷業
- (4) 販売事業 物品販売
- (5) その他事業 建築工事、その他

【所在地別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

全セグメントの売上高の合計に占める日本の割合が、90%を超えるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結会計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

該当事項はありません。

「参考資料」

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
営 業 収 益	10,088
営 業 費 用	8,522
営 業 総 利 益	1,565
一 般 管 理 費	785
営 業 利 益	780
営 業 外 収 益	52
営 業 外 費 用	193
経 常 利 益	639
特 別 利 益	27
特 別 損 失	55
税金等調整前四半期純利益	611
法人税、住民税及び事業税	417
法 人 税 等 調 整 額	△119
少 数 株 主 利 益	2
四 半 期 純 利 益	311

(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	611
減 価 償 却 費	410
償 却 費	7
貸 倒 引 当 金 の 減 少 額	△25
貸 倒 損 失	0
賞 与 引 当 金 の 増 加 額	265
退 職 給 付 引 当 金 の 増 加 額	6
受 取 利 息 及 び 受 取 配 当 金	△27
支 払 利 息	166
為 替 差 損 益	0
固 定 資 産 売 却 益	△0
固 定 資 産 除 却 ・ 売 却 損	48
投 資 有 価 証 券 評 価 損	1
売 上 債 権 の 減 少 額	148
た な 卸 資 産 の 増 加 額	△133
仕 入 債 務 の 減 少 額	△3
未 払 消 費 税 等 の 増 加 額	20
未 収 入 金 の 増 加 額	△33
そ の 他	76
小計	1,539
利 息 及 び 配 当 金 の 受 取 額	29
利 息 の 支 払 額	△162
法 人 税 等 の 支 払 額	△461
営業活動によるキャッシュ・フロー	945

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期連結累計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)
	金額
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△232
有形固定資産の売却による収入	0
有形固定資産の処分による支出	△23
投資有価証券の取得による支出	△1
敷金及び保証金の差し入れによる支出	△28
敷金及び保証金の返還による収入	1
貸付金の回収による収入	24
受入敷金及び保証金の返還による支出	△71
受入敷金及び保証金の預りによる収入	13
その他	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△317
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増加額	18
長期借入による収入	1,630
長期借入金の返済による支出	△2,067
社債の償還支出	△91
自己株式取得による支出	△0
配当金の支払額	△113
財務活動によるキャッシュ・フロー	△624
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0
現金及び現金同等物の増加額	3
現金及び現金同等物の期首残高	3,089
現金及び現金同等物の四半期期末残高	3,092

セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

	物流事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	印刷事業 (百万円)	販売事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
営業収益								
(1)外部顧客に対する売上高	6,152	804	2,172	878	79	10,088	—	10,088
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	2	367	0	—	—	370	(370)	—
計	6,155	1,172	2,172	878	79	10,459	(370)	10,088
営業費用	5,535	725	1,946	855	79	9,141	166	9,307
営業利益	620	447	226	23	0	1,318	(537)	780

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

全セグメントの営業収益の合計に占める日本の割合が、90%を超えるため、所在地別のセグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自 平成19年4月1日 至 平成19年6月30日)

該当事項はありません。